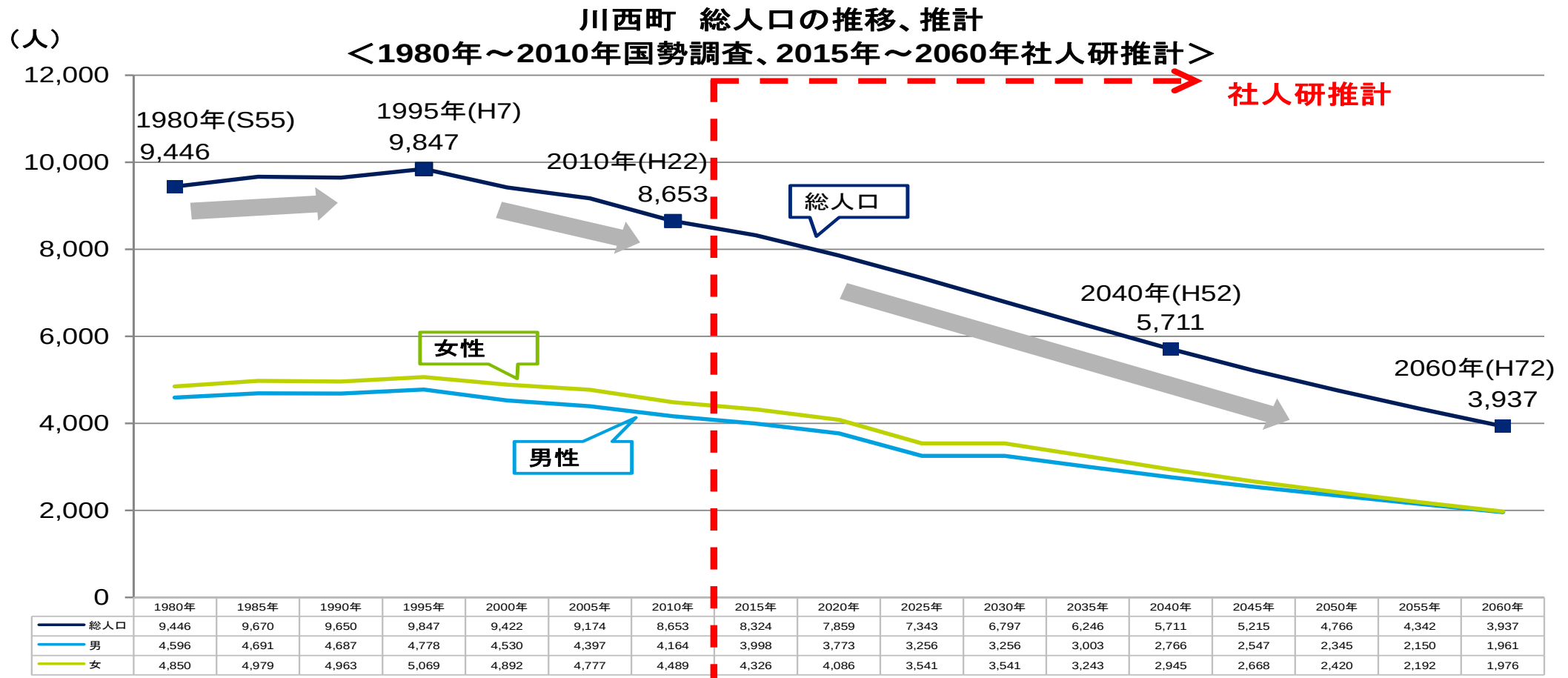


[illegible]

1

川西町の総人口推移、推計

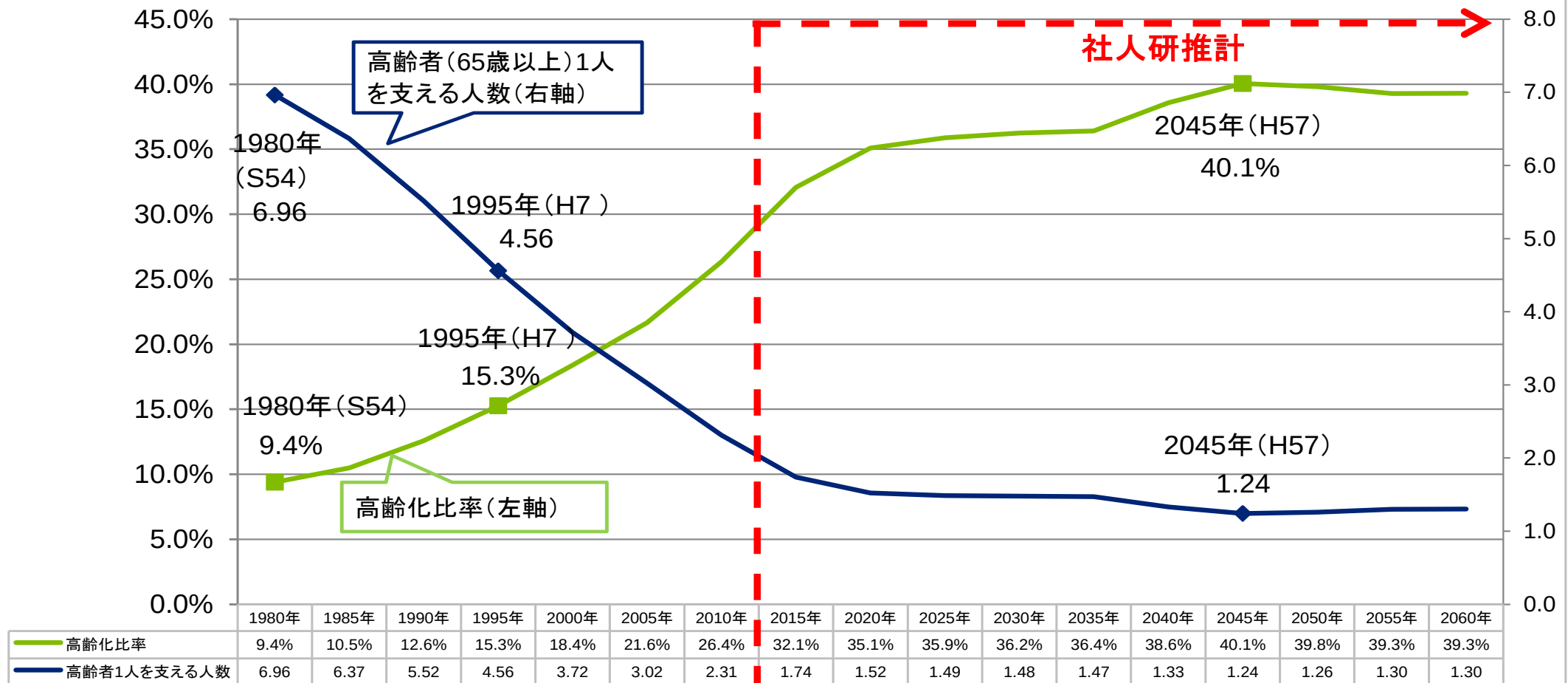
- ・本町の総人口は1995年まで増加していましたが、1995年の9,847人をピークに減少に転じ、2010年には8,653人となっています。
- ・国立社会保障・人口問題研究所(社人研)が発表している『日本の地域別将来推計人口』(2013年3月推計)によると、今後も総人口の減少傾向は変わらず、2040年には5,711人、2060年には3,937人になると見込まれています。



川西町の高齢化率変化

・1980年に9.4%だった高齢化率は、今後も上昇を続け、2045年には40.1%となり、高齢者1人を支える人数は1.24人になります。

高齢化率、高齢者1人を支える人数の推移、推計
 <1980年～2010年国勢調査、2015年～2060年社人研推計>



川西町大字別の年齢区分人口

【H28.3.31現在】

(人口単位：人)

大字	全人口	老人会加入・該当人口(60歳以上)					子ども(年少人口)			
			比率	75歳以上	65歳以上	60歳以上		比率	0～4歳	5～14歳
中村	795	212	26.7%	77	83	52	165	20.8%	58	107
美ノ城	383	59	15.4%	12	34	13	75	19.6%	25	50
結崎団地	1,437	706	49.1%	258	365	83	149	10.4%	34	115
結崎南団地	266	123	46.2%	46	60	17	22	8.3%	6	16
ハッピータウン	181	26	14.4%	3	16	7	49	27.1%	4	45
スカイタウン	120	17	14.2%	1	12	4	36	30.0%	16	20
出屋敷	1,409	377	26.8%	113	161	103	209	14.8%	83	126
美幸	100	47	47.0%	13	26	8	6	6.0%	0	6
市場	237	113	47.7%	45	44	24	22	9.3%	7	15
辻	430	149	34.7%	53	70	26	39	9.1%	11	28
井戸	353	132	37.4%	47	61	24	41	11.6%	9	32
東城	295	141	47.8%	56	56	29	24	8.1%	7	17
西城	153	59	38.6%	24	25	10	14	9.2%	6	8
東方	362	178	49.2%	73	64	41	20	5.5%	7	13
上吐田	186	86	46.2%	40	28	18	13	7.0%	3	10
北吐田	109	52	47.7%	21	23	8	6	5.5%	0	6
南吐田	198	98	49.5%	35	44	19	17	8.6%	6	11
梅戸	459	197	42.9%	94	69	34	41	8.9%	7	34
唐院	800	384	48.0%	151	163	70	64	8.0%	15	49
保田	448	218	48.7%	91	91	36	39	8.7%	5	34
合計	8,721	3,374	38.7%	1,253	1,495	626	1,068	12.2%	309	742

・高齢化比率(65歳以上) : 31.5% ・75歳以上人口比率 : 14.4%

4つの活力プラン

1. 人・企業にとって魅力あるまちづくり
2. 子どもや子育てしている人にとってやさしいまちづくり
3. 安心して暮らせるまちづくり
4. 住民参加で開かれたまちづくり



1. 人・企業にとって魅力あるまちづくり

川西町の地理的優位や町のブランドを生かし、人・企業が集まる魅力のあるまちづくりに取り組みます。

(1) 結崎駅周辺整備(H26～)

- 平成26年3月、近鉄結崎駅周辺整備基本計画を策定しました。
- 住民との未来志向の対話「フューチャーセッション」の実施により、住民と一緒に将来を考えていく駅・まちづくりを具体的に実行します。



(2) 企業誘致の推進

- 小学校跡地に奈良日野自動車を誘致しました。
- 県の工業ゾーンプロジェクトチームへ参加しました。
- 企業立地奨励金を拡充しました。



(3) 島の山整備事業

- 島の山整備検討委員会を開催し、平成27年3月に「島の山古墳整備基本構想」を策定しました。(※平成32年に整備工事の着工予定)



(4) 伝統芸能体験を通じた魅力発信

- H26より能楽講座を開講、講座生4名が活動しました。
- 結崎DE能の実施: 毎回200名前後の集客がありました。

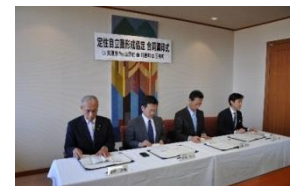


(5) 多面的機能支払交付金

- 農道の維持補修、水路の泥上げ、ゲート類の保守管理、遊休農地の発生防止のための保全管理を実施しました。
※南吐田地域資源保全会が平成26年度より実施中

(6) 定住自立圏協定・まちづくり連携協定

- 天理市と定住自立圏協定を平成27年9月に締結しました。
- 奈良県とまちづくり連携協定(包括協定)を近日中に締結します。



2. 子どもや子育てしている人にとってやさしいまちづくり

【医療分野】

まちづくりを子どもや子育ての観点から見直し、子どもたちが健やかに育つ仕組みを整えます。

(1) 子ども医療費の助成対象拡大(H28～)

通院に係る医療助成対象を「小学校就学前」から「中学校卒業まで」に拡大します。(所得制限なし)
(※入院については従来どおり、中学校卒業まで)

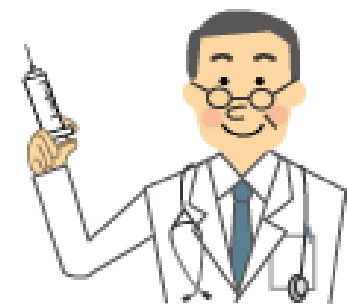


(2) 任意予防接種費用助成(インフルH26～ ほかH27～)

こどもの季節性インフルエンザ・おたふくかぜ・B型肝炎・ロタウイルス接種費用の一部を助成しています。

〈H27実績〉

- ・季節性インフルエンザ 472人
- ・おたふくかぜ 33人
- ・B型肝炎 40人
- ・ロタウイルス 42人



(3) 風疹ワクチン接種費用・抗体検査費用助成(H26～)

妊婦と赤ちゃんを風しんから守るため、風しんの抗体検査及びワクチン接種費用を助成し、積極的に受けられる体制をとっています。

〈H27実績〉

- ・風疹ワクチン接種費用 3人
- ・抗体検査費用 1人



(4) 妊婦歯科検診(H27～)

妊婦の口腔に関する健康保持増進と早期発見を図り、健康で安全な出産を促す体制を取っています。

〈H27実績〉

- ・受診者数 7人



2. 子どもや子育てしている人にとってやさしいまちづくり

【教育分野】

まちづくりを子どもや子育ての観点から見直し、子どもたちが健やかに育つ仕組みを整えます。

(1) 出張発達相談(H27～)

- ・乳幼児健康診査未受診者及び育児相談希望者に対して、保育所等に臨床心理士や保健師等が赴き、児の状況確認や育児相談、接し方の指導を行いました。



〈H27実績〉 発足時参加者:81名

(2) 個別療育相談(H28～)

- ・発達障害のある児に対して、保健センターで一对一の個別の早期療育訓練を行い、保護者に対しては児の発達を促すための指導・助言を行いました。
- ・保護者からの主訴に柔軟に対応し、適応的な行動の増加につながる取組みができました。

(3) 子ども議会(H26～)

- ・川西小学校6年生社会科授業の一環として、役場の議場において、子ども議会を開催しました。
- ・議会や行政に興味や関心を持つ、良いきっかけになりました。



(4) 漢字検定補助(H28～)

- ・小5～6を対象に、国語力向上のため漢字検定の受検費用を補助します。(上限:2,000円)
- ・漢字検定の会場に川西小学校を提供し、受検者の負担を軽減します。

(5) 学校地域パートナーシップ(学習支援活動の実施)(H27～)

- ・地域の方々と共に「放課後子ども学習会」を実施しました。

〈H27実績〉

発足時参加者:81名

年度末参加者:64名



(6) 放課後学習支援活動の拡充(H27～)

- ・放課後子ども教室、能楽講座を開催しました。

〈H27実績〉

放課後子ども教室:音楽4講座

(参加者100名以上)

能楽講座(参加者4名)



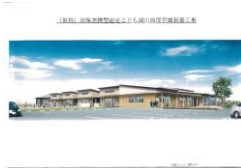
2. 子どもや子育てしている人にとってやさしいまちづくり

【環境整備分野】

まちづくりを子どもや子育ての観点から見直し、子どもたちが健やかに育つ仕組みを整えます。

(1) 子育て支援の充実(H29～)

- ・認定こども園を誘致しました。
(社会福祉法人 愛和会)
(H29.4開園予定)



(2) 子育て支援センターの機能強化

- ・平成27年度利用者数のべ5300人。(H25より約400人増)
一日平均21組の親子が遊びに来てくれています。
- ・ひだまり交流会「流しそうめん」では、町内町外から100組の親子が参加してくれました。

(3) 学童保育所の強化

- ・学童保育の運営時間を延長しました。
- ・対象の拡大(小3 ⇒ 小6)、定員の拡大
(70名 ⇒ 86名)をおこないました。



(4) 幼稚園預かり保育の実施(H26～)

年中・年長児の4月から一日保育スタート(H27～)

- ・保育時間終了後から16時まで預かり保育を開始しました。
- ・5月から開始していた一日保育を平成27年4月から繰上げ開始しました。



(5) 学校給食アレルギー検査等補助制度創設

- ・食物アレルギーがある子どもを対象に、学校給食除去食申請のための検査等に係る費用の一部を補助しました。

〈H27実績〉 補助件数4件

(6) 母子みなし控除の新設

- ・未婚のひとり親の保育所利用料を減額し、家庭の経済負担を軽減することで、保育所等を利用しやすい環境作りを行いました。

(7) 都市公園の遊具整備

- ・町内全ての公園の遊具実態調査を実施しました。
- ・平成28年度から、各自治会にヒアリングをおこない、遊具の更新をおこないます。



子育て支援センターの様子

3. 安心して暮らせるまちづくり

【防犯・防災分野】

防災・防犯体制の強化、高齢者や障害者が安心して暮らせるよう地域福祉の仕組み作りに取り組みます。

(1) 防災体制の強化

- 全ての自治会に自主防災組織を設立しました。(20団体)
- 大和川河川事務所と時系列で整理した防災行動計画を策定しました。
- 自主防組織に対する活動補助制度を創設しました。
- 自主防災会・消防団・関係機関と合同防災訓練を実施しています。
- コスモス安全メールによる気象予警報の配信を始めました。
- 災害時優先電話を整備しました。

(2) 空き家調査

- 全町内の空き家実態調査を実施しました。
- 平成28年度に空き屋の処分・利活用の計画を策定し、地域の環境・防災・景観等の保全に努めます。



国土交通省資料から引用

3. 安心して暮らせるまちづくり

【健康分野】

防災・防犯体制の強化、高齢者や障害者が安心して暮らせるよう地域福祉の仕組み作りに取り組みます。

(3) 各種検診の受診率向上

- がん検診と特定健診を同日開催し、受診者の利便性を高め、受診率の向上に努めています。
- 特定健診は事前に意識調査を実施し、未受診予定者に個別電話勧奨を行い、受診率向上に努めています。
- がん検診の実施日程も増やし、受診しやすい環境づくりに努めています。

(4) がん検診

- 大腸がん検診(H26)の受診率が12.5%向上しました。
- がん検診の受診率を向上させるため、受診勧奨のコール・リコールを行いました。
- 子宮がん検診(H27)を実施しました。
- 肺がん検診(H28)に取り組みます。



3. 安心して暮らせるまちづくり

【福祉・介護分野】

防災・防犯体制の強化、高齢者や障害者が安心して暮らせるよう地域福祉の仕組み作りに取り組みます。

(1) まほろばあいサポート (H26 ～)

・住民の皆さん、民生児童委員、LD研究会、川西町職員を対象にあいサポーター養成研修を実施し、知事よりまほろばあいサポート団体として認定を受けました。

(3) 住民の社会参加促進 (H26 ～)

・見守り隊を拡充しました。
(現在、20自治会中19自治会が参加)
・夏休み期間の毎週木曜日に夜間巡視を実施しました。



(2) 高齢者見守りネットワーク (H27 . 7～)

・23ヶ所の事業所に登録協力頂きました。そして、2件の通報があり、2件とも解決することができました。



(4) 成年後見制度・町長申立制度 (H18 ～)

・成年後見町長申立てによる後見開始:平成27年度 1件
・成年後見制度利用に関する相談支援:平成26年度 1件
平成27年度 1件

(5) 精神障害者医療費助成 (H26 . 10 ～)

・精神通院のみの助成対象を、すべての診療科における入院・通院等に助成を拡充しました。

(6) 福祉タクシー助成 (H26 ～)

・精神手帳1級所持者も助成対象に拡充しました。
・1回の利用につき680円まで、月4回まで助成しました。
・事前登録者数 69名

(7) 要約筆記者派遣 (H26 ～)

・要約筆記作業に従事する要約筆記者を呼び、発話時点で要約し、通訳する制度を整備しました。

(8) 難聴児への補聴器 (H25 ～)

・身体障害者手帳の交付対象とならない軽度・中等度の難聴児の補聴器の購入費用の一部を助成しています。

3. 安心して暮らせるまちづくり

【その他分野】

防災・防犯体制の強化、高齢者や障害者が安心して暮らせるよう地域福祉の仕組み作りに取り組みます。

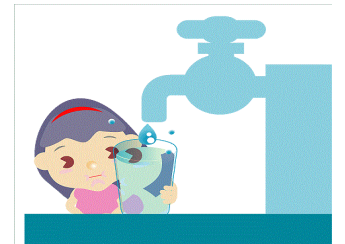
(1) コミュニティバスの充実 (H27. 10～)

- コミュニティバスのバス停を増設するとともに、ニーズにあったダイヤの見直しをおこないました。
- 高齢者・障害者の減額制度を創設しました。



(2) 水道環境の改善

- 平成29年度中に全配水量の4割であった県水の受水割合を全量とします。
- 県営水道と直結する(県内初)ことにより、浄水施設の更新経費を削減できます。



(3) リサイクルの促進 (H27 ～)

- 資源の有効活用を推進するために、リサイクル掲示板を設置しました。
- 資源回収団体に対する活動回数に応じた助成金を増額しました。
- 資源ごみ袋の無料化を継続し、分別促進に取り組んでいます。



(4) 橋梁の長寿命化対策

- 川西町橋梁長寿命化修繕計画に基づき、補修を実施しました。(3橋)
- H28年度、町内54橋の点検を実施します。
- H28～30年度で杉の木橋及び馬場尻橋、たつみ橋の修繕を行います。



(5) 道路の維持補修

- 道路ストック点検(路面性状調査)を実施し、39.6kmを調査しました。
- その結果に基づき、緊急度に応じて、舗装修繕を実施しました。



4. 住民参加で開かれたまちづくり

多くの方々の声が届け、それを形にできる行政に取り組みます。

(1) 広報・HP

- ・広報紙面を刷新しました。
(H27. 7 ~)
- ・積極的な取材活動を実施しました。
- ・ホームページを刷新しました。
(H28 ~)



(2) 住民会議

- ・住民が主体的に町政に参加できる仕組みとして、住民参加型会議を開催しました。
- 〈実績〉
川西町の未来を語る集い(H27)
住民ワールドカフェ(H28)



(3) ご意見箱の設置

- ・役場1階にご意見箱を設置し、広く住民の皆様より意見を伺えるようにしました。

※投書数:42通



(4) まちづくり補助金

- ・住民の皆さんが自ら企画し、実践される地域振興や環境保全に寄与するまちづくり事業に対し補助金を交付しています。

〈実績〉
桜祭り、川西町夏フェスティバル など



(5) 清掃活動・資源回収助成制度の見直し

- ・清掃活動により収集された廃棄物の処理にかかる経費を助成しました。(H11 ~)
- ・資源回収団体に対する活動回数に応じた助成金を増額しました。(H27 ~)

(6) ボランティア参加の促進

- ・行政への住民参加を促進しました。
- ※ボランティア参加数
- ・ホールスタッフ:29名
 - ・面塚清掃:4名



5. 4つの活力プラン以外のテーマ

【行財政改革分野】

(1) 組織改革

- ・多様な行政ニーズに対応するため、組織再編を進めました。
※住民生活課と保険年金課を統合 ⇒ 住民保険課へ
※長寿介護課の設置(健康福祉課から分離)
※債権管理課の設置(税務課から分離)

(2) 定員管理

- ・将来を見据えて、一層の効率的・効果的な人事行政を推進するため、的確な定員管理を実施してます。

H25 105人 ⇒ H28 104人(再任用フルタイム2人含む)

(3) 特殊勤務手当削減

- ・持続可能な財政運営を目指すため、特殊勤務手当を見直しました。

H25 6種類 ⇒ H28 2種類

(4) 電力入札実施 (H27 ~)

- ・平成26年度と比較して、約1千万円の経費削減につながりました。

(5) 太陽光発電事業にかかる屋根・土地貸し(H27. 8 協定)

- ・再生エネルギーの促進、災害時の非常用電源の確保及び行政財産の有効活用のため、町有施設の屋根や土地を貸し出し、太陽光発電システムを9か所に設置しました。

(6) 戸籍システム共同利用

- ・各市町村の共通する事務においてシステムを7市町で共同で調達・利用することにより、導入費用・保守費用等の削減を図りました。

※ 導入効果: 13,995千円削減(5年間)

(7) 公会計制度の導入

H27年度に公会計(一般会計)を導入したことにより、今後は、議会への決算説明時にこれまで以上に財務書類等で川西町の現状を把握できます。

(8) 安定的な財政運営の実施

- ・実質公債費比率が改善しました。
H24年度: 11.6% ⇒ H26年度: 3.8%
- ・公債費(起債償還費: 一般会計)を削減しました。
H24年度: 719百万円 ⇒ H26年度: 377百万円

5. 4つの活力プラン以外のテーマ

【住民サービスの向上分野】

(1) 証明書の時間外交付 (H28. 1～)

- ・証明書(住民票、印鑑証明等)の休日交付(毎月第3土曜日)を開始しました。(※事前予約制)



(2) 図書館利用時間の拡大 (H27 ～)

- ・休館日を水曜⇒月曜に変更しました。
- ・開館時間を金曜日19時まで延長しました。
- ・「2、3歳のえほんのへや」の開催回数を増やしました。
- ・夏休みお楽しみ袋の貸出を始めました。
- ・幼稚園、小学校に貸出カード登録用紙を配布しました。
- ・平成28年度は児童に貸出バッグ配布を予定しています。

(3) 民間活力の利用

- ・地域包括支援センター業務を委託しました。
- ・ぬくもりの郷デイサービスセンター及びグループホームに指定管理制度を導入しました。
※指定管理者: 社会福祉法人いわれ会
※管理期間: 平成28～32年度

(4) 戦没者地点図の作成

- ・戦後70年記念事業として戦没者地点図を作成し、遺族の方と自治会に配布しました。



(5) ぬくもりの郷駐車場整備

- ・ぬくもりの郷の南側に駐車場用地を取得しました。
- ・今年度秋以降に駐車場整備を行います。



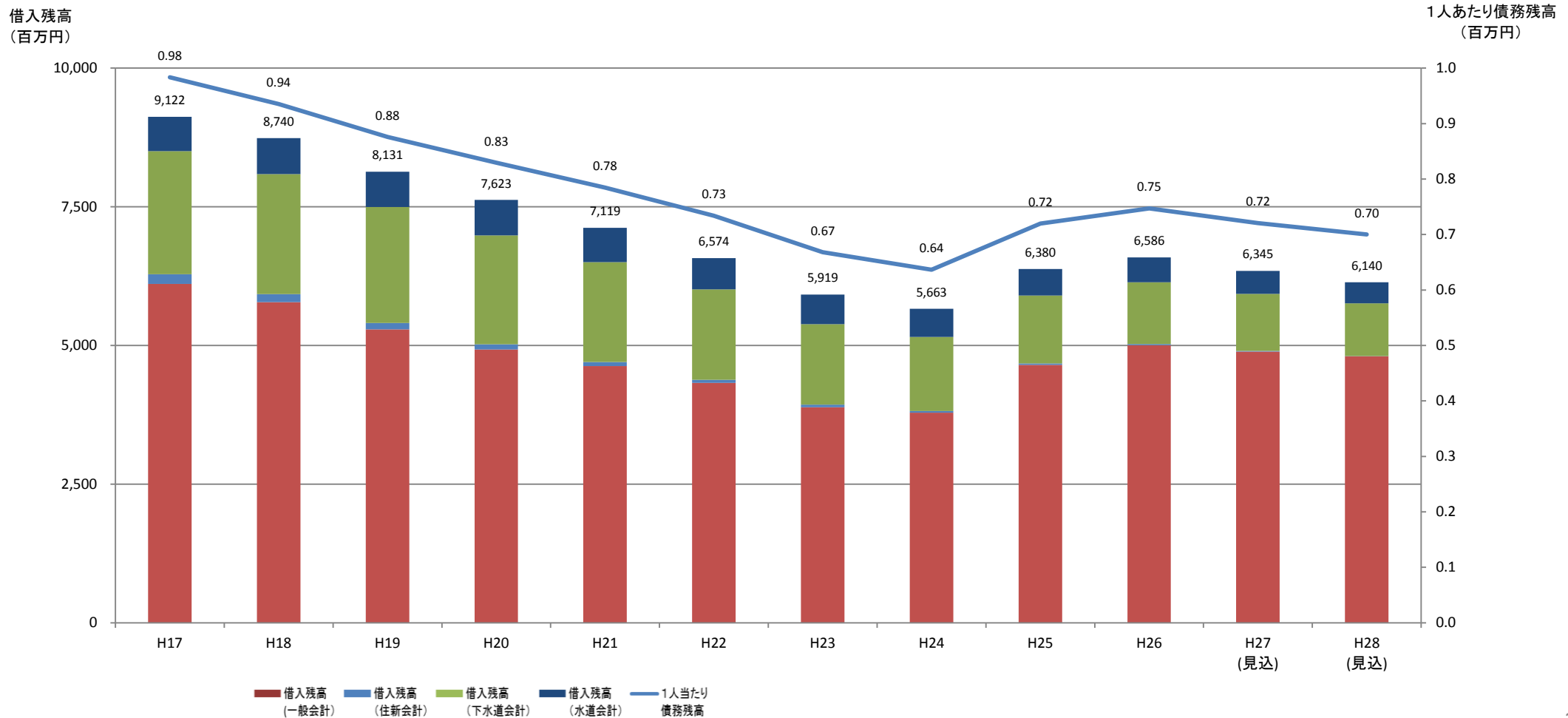
(6) 文化芸術活動の拡充

- ・クラシックコンサートを開催しました。(参加者: 400名)
- ・かわにしArtFestival“結”カルメラ音楽会を開催しました。(参加者: 300名)



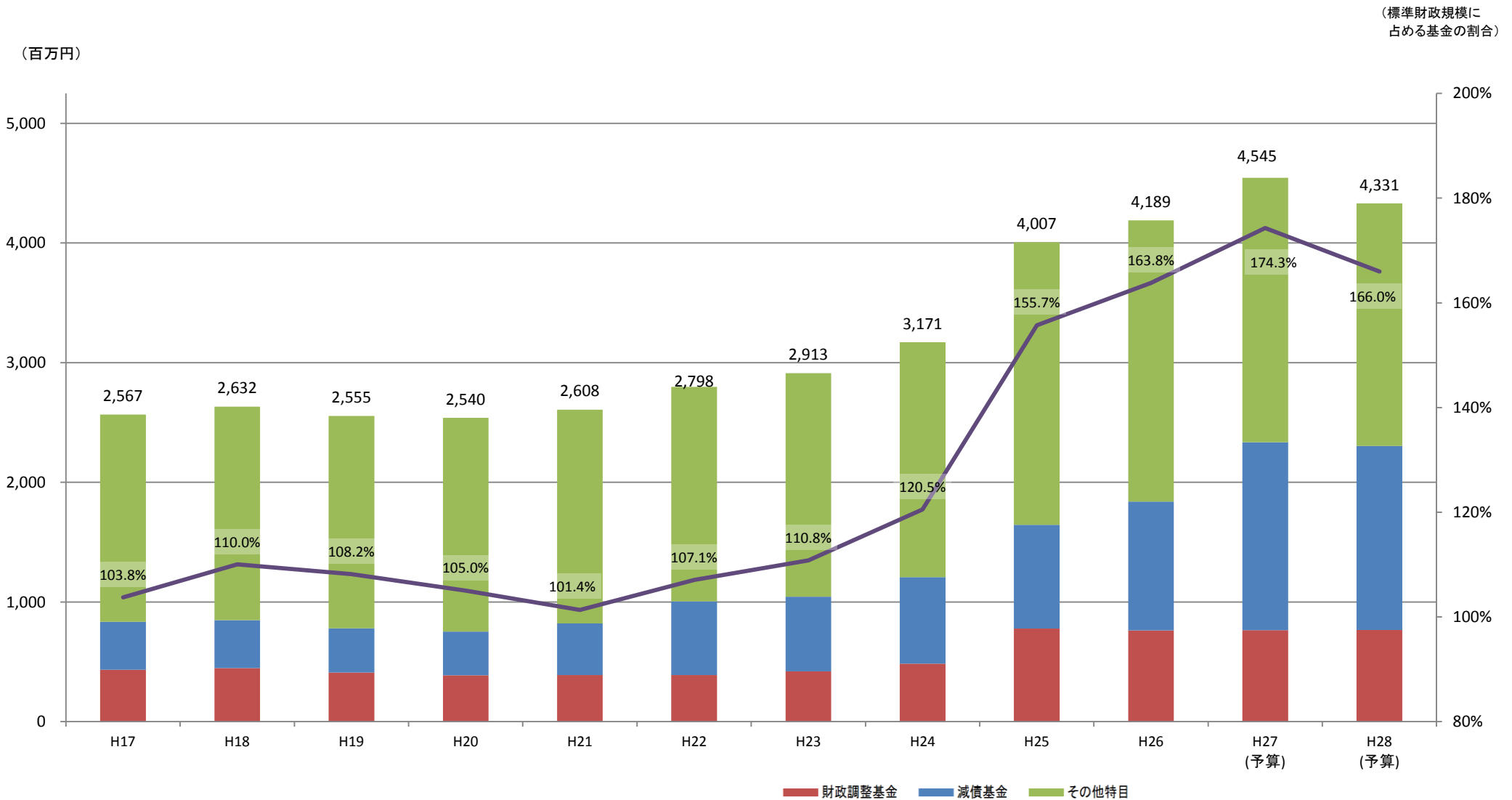
債務残高の推移

- ・H25年度は小学校建設に伴い債務残高は増加しましたが、過去10年間(H17→H26)で、債務残高を約30%削減しました。
- ・債務の内訳も、臨時財政対策債・交付税措置のある借入へとシフトし、交付税措置のない借入は大幅に減少しました。



基金残高の推移

・H16年度に「財政危機宣言」発令、減債基金を大きく取り崩し、借入返済に充当しましたが、その後は、着実に積み上げ、標準財政規模の150%を超過するに至っています。



ご静聴ありがとうございました。

川西町

